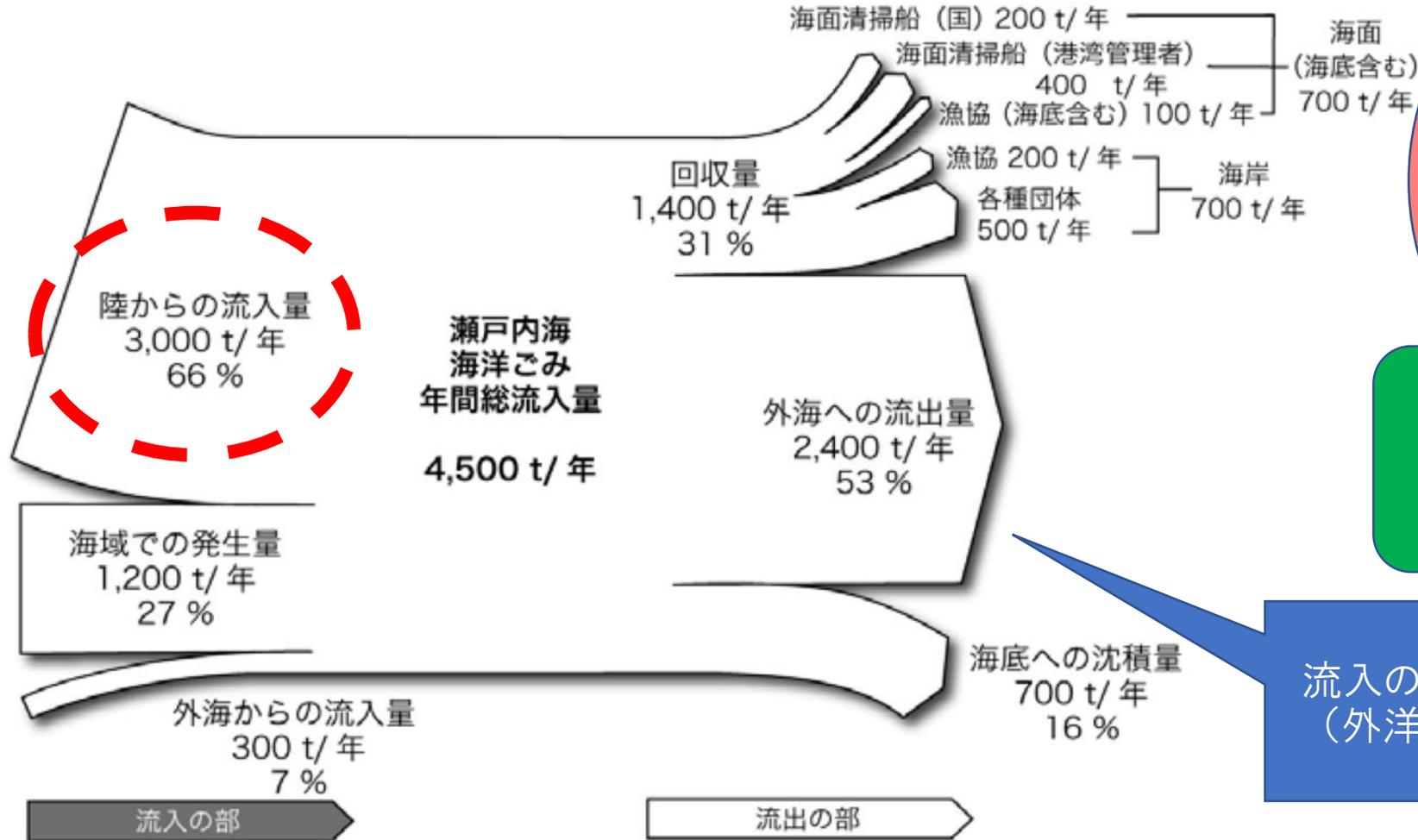




# ポイント力説

# 瀬戸内海における海洋ごみ収支モデル



瀬戸内海環境  
保全特別措置法  
改正へ

漂流ごみ等の除去・発生抑制を  
国・地方が連携して行う

流入の70%は系外  
(外洋, 海底)へ

# 大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画の変更（2021～2030）

長期的に目指す姿（2050年）

「豊かな大阪湾」の実現のためプラスチックごみを含め人の活動に伴うごみの流入がない大阪湾を目指す。

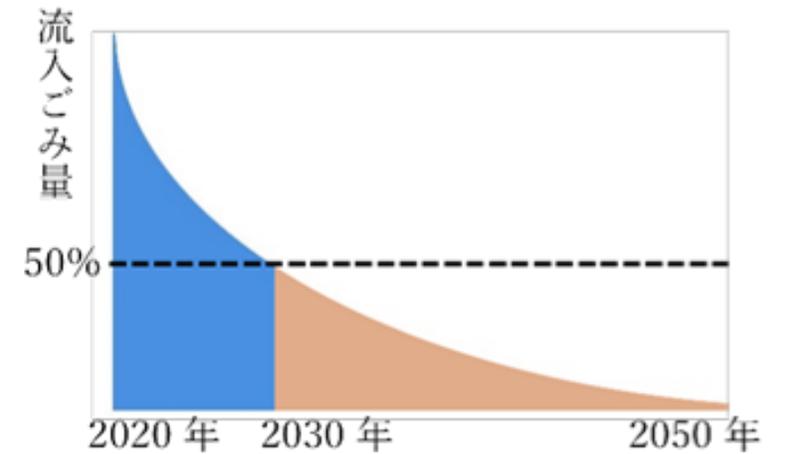
計画期間：2021年度から2030年度の10年間

※2025年に中間見直し

**目標：**2030年度に大阪湾に流入するプラスチックごみの量を半減する。

（現状を100として、2050年度のゼロからバックキャストिंगして設定。）

**重点区域：**海岸線全延長の海域と府域全域の陸域

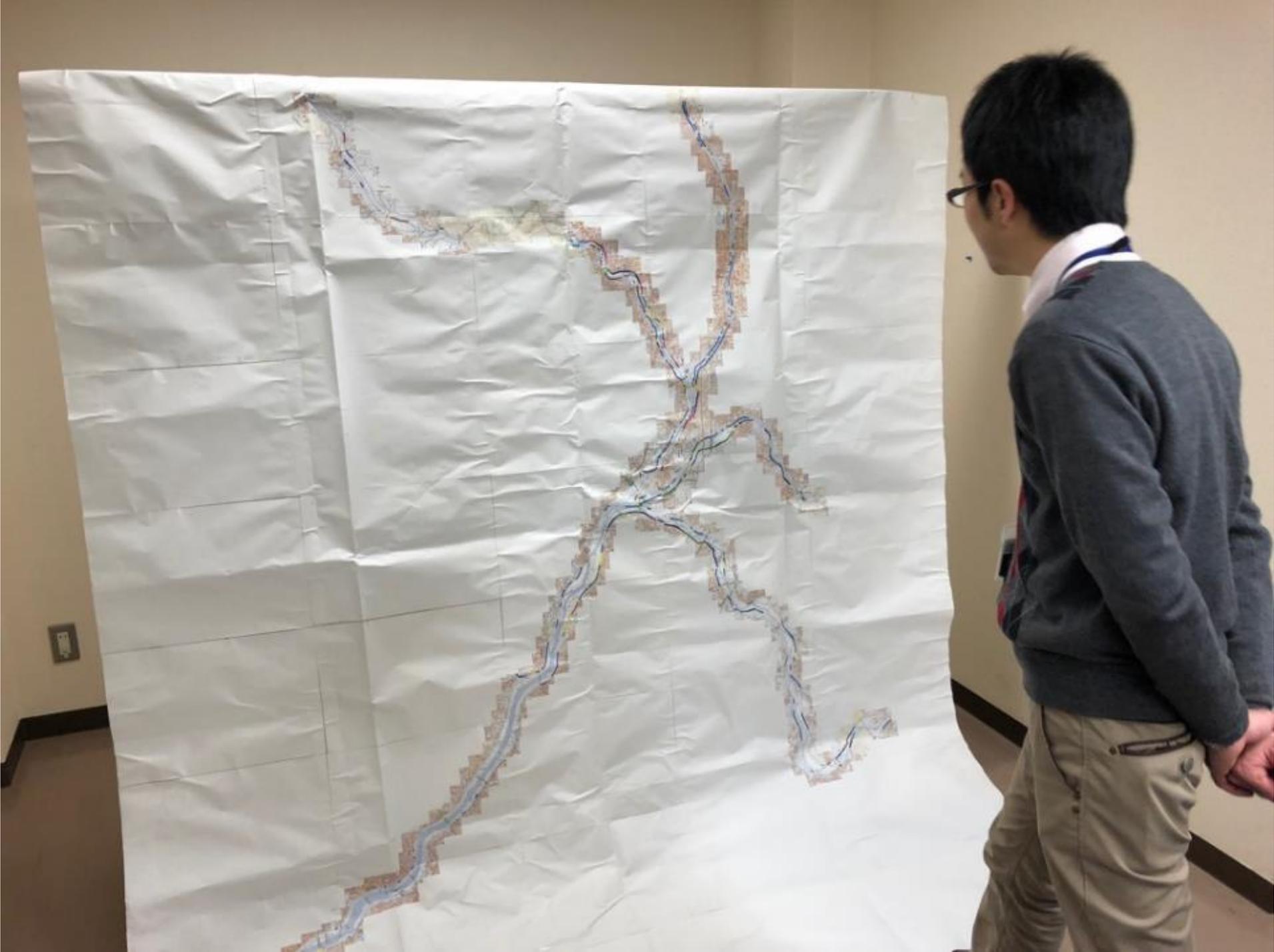


## 〔方針〕

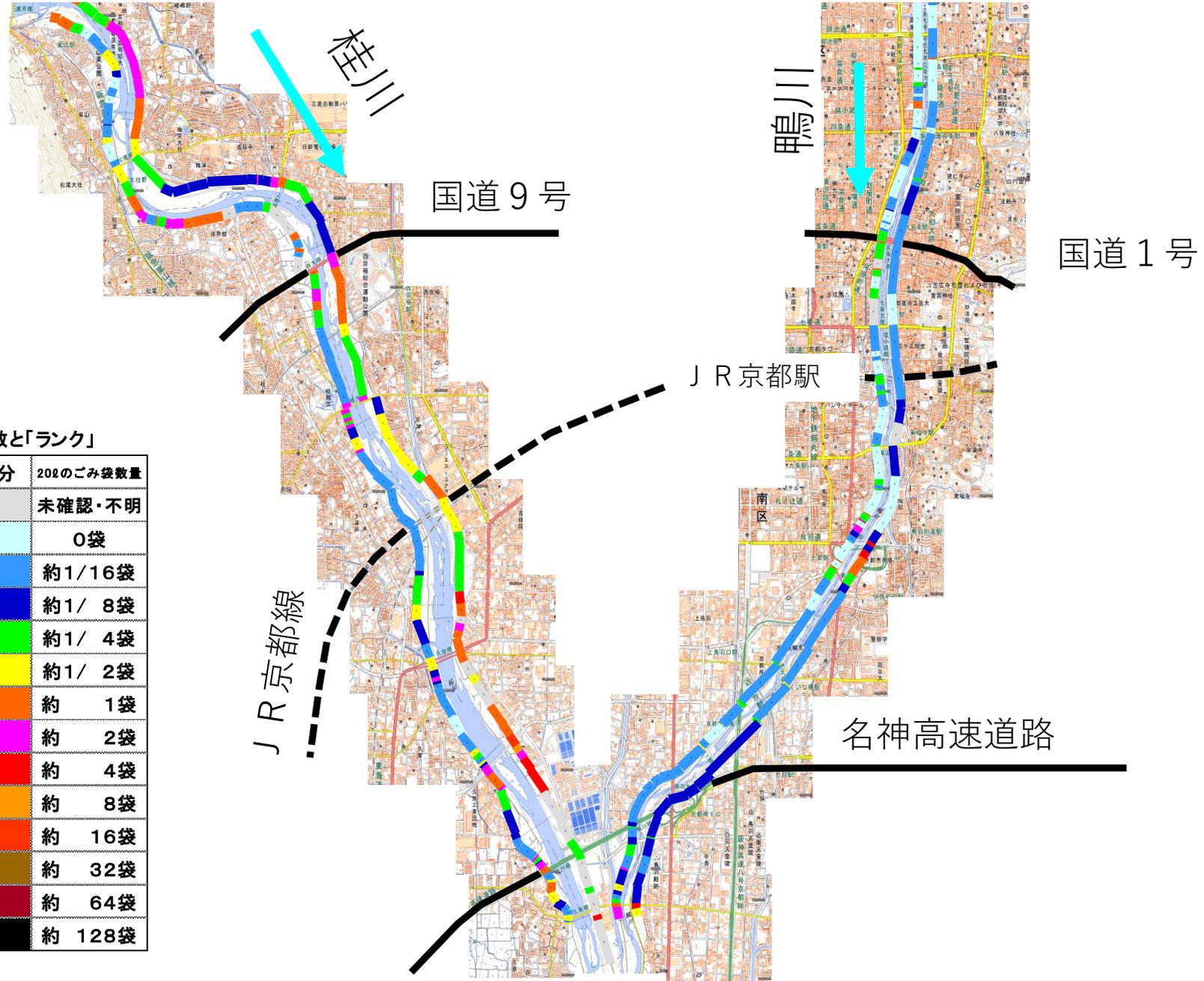
- ① プラスチックごみの削減に重点的に取り組むことを通じて、海岸漂着物等全体の削減を目指す。
- ② 既存の知見に基づきできるだけ早い段階での発生抑制・回収に取り組みつつ、実態把握を踏まえた施策を段階的に展開する。
- ③ SDGs達成を念頭に、他の環境問題や他分野の社会課題との相互のつながりを意識して施策を展開する。

淀川水系のごみを  
しらべてみました！

出典：平成29年度琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会（第2回）



# 淀川流域河川ごみ調査 桂川・鴨川合流部



ごみ袋数と「ランク」

ランク	色区分	20㍓のごみ袋数量
—		未確認・不明
0		0袋
TT		約1/16袋
T		約1/8袋
1		約1/4袋
2		約1/2袋
3		約1袋
4		約2袋
5		約4袋
6		約8袋
7		約16袋
8		約32袋
9		約64袋
10		約128袋

# どこからごみはやってくる？

